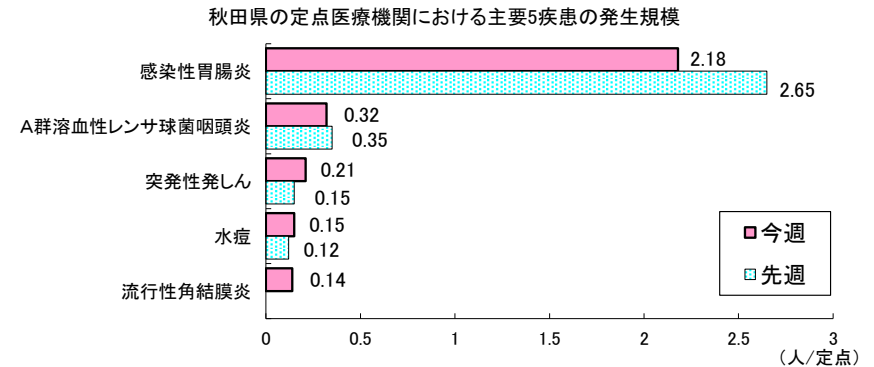




【第11週の発生動向】

<定点把握対象疾患(週報)・前週比>

1. 感染性胃腸炎は、県全体で18%減少しています。保健所別では、秋田市で増加、大館、北秋田、能代、秋田中央、由利本荘、大仙、横手、湯沢で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で9%減少しています。保健所別では、秋田中央、大仙、横手で増加、秋田市で同規模、大館、湯沢で減少しています。
3. 突発性発しんは、県全体で1.4倍に増加しています。保健所別では、秋田市で増加、大館、由利本荘で減少しています。



発生報告

<五類定点対象疾患(週報)>

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第10週	第11週	増減	第10週	第11週	増減	第10週	第11週	増減	第10週	第11週	増減	第10週	第11週	増減	第10週	第11週	増減	第10週	第11週	増減	第10週	第11週	増減	第10週	第11週	増減			
RSウイルス感染症	0.03	0.09	↗	0.14	0.43	↗																								
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱	0.06	0.12	↗	0.29	0.29			0.25	↗													0.25	↗							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.35	0.32	↘	0.14	0.14		1.50	↘						0.75	1.50	↗					0.25	0.75	↗		0.33	↗	0.33	↘		
感染性胃腸炎	2.65	2.18	↘	3.43	4.57	↗	0.50	0.25	↘	1.50	1.00	↘	9.33	8.00	↘	1.75	1.50	↘	1.75	0.75	↘	2.25	0.50	↘	0.67	↘	2.67	1.33	↘	
水痘	0.12	0.15	↗				0.75		↘												0.25	↗	0.50	↗			0.33	0.67	↗	
手足口病																														
伝染性紅斑		0.03	↗																									0.33	↗	
突発性発しん	0.15	0.21	↗	0.29	1.00	↗	0.25		↘												0.50		↘							
ヘルパンギーナ																														
流行性耳下腺炎																														
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*									*	*			
流行性角結膜炎		0.14	↗		0.33	↗				*	*		*	*		*	*									*	*			
細菌性髄膜炎																														
無菌性髄膜炎																														
マイコプラズマ肺炎	0.13		↘							1.00		↘																		
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																														
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																														

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。「*」印は、当該疾病に関する定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

・二類感染症の結核が由利本荘保健所から1人、報告されました。
 ・五類感染症の梅毒が秋田市保健所から1人、百日咳が北秋田保健所から1人、報告されました。
 ・新型コロナウイルス感染症が秋田市保健所から661人、大館保健所から137人、北秋田保健所から60人、能代保健所から53人、秋田中央保健所から163人、由利本荘保健所から95人、大仙保健所から190人、横手保健所から49人、湯沢保健所から42人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	(人)		
		1週-10週		11週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	2440	12	1
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
鳥インフルエンザ(H7N9)				
三類	コレラ			
	細菌性赤痢	9		
	腸管出血性大腸菌感染症	139	2	
	腸チフス			
四類	パラチフス			
	E型肝炎	80		
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	14		
	エキノкокクス症	3		
	黄熱			
	オウム病			
	オムスク出血熱			
	回帰熱	2		
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症			
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	4		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎			
	炭疽			

類型	疾患名	(人)			
		1週-10週		11週	
		全国	秋田	秋田	
四類	チクングニア熱				
	つつが虫病	42			
	デング熱				
	東部ウマ脳炎				
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)				
	ニパウイルス感染症				
	日本紅斑熱	4			
	日本脳炎	1			
	ハンタウイルス肺症候群				
	Bウイルス病				
	鼻疽				
	ブルセラ症				
	ベネズエラウマ脳炎				
	ヘンドラウイルス感染症				
	発しんチフス				
	ポツリヌス症	1			
	マラリア				
	野兔病				
	ライム病	2			
	リッサウイルス感染症				
	リフトバレー熱				
	類鼻疽				
	レジオネラ症	200	2		
	レプトスピラ症				
	ロッキー山紅斑熱				
	五類	アメーバ赤痢	86		
		ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	33		
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		259	2		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		3			
急性脳炎		48			
クリプトスポリジウム症					
クロイツフェルト・ヤコブ病		40			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		145			
後天性免疫不全症候群		167			
ジアルジア症		4			
侵襲性インフルエンザ菌感染症		36			
侵襲性髄膜炎菌感染症		1			
侵襲性肺炎球菌感染症		211	2		
水痘(入院例に限る)		47	2		
先天性風しん症候群					
梅毒		1801	5	1	
播種性クリプトコックス症		31			
破傷風		9			
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症					
バンコマイシン耐性腸球菌感染症		31			
百日咳		112	2	1	
風しん					
麻しん		2			
薬剤耐性アシネトバクター感染症		1			
* 新型コロナウイルス感染症		10474	1450		

* 新型インフルエンザ等感染症

トピック

<結核の発生状況について>

秋田県では、第11週までに結核の報告が13人ありました。そのうち4人は、発病していない潜在性結核ですが、体力や免疫力の低下により発病しやすくなるため、注意が必要です。次の予防のポイントを参考に普段から感染を予防するとともに、栄養バランスのよい食事や規則正しい生活を心がけましょう。また、結核の初期症状は咳、痰、発熱、倦怠感など風邪によく似ています。このような症状が2週間以上続く場合は、早めに医師の診察を受けましょう。

■ 予防のポイント

- ・ 乳児は結核に感染すると重症化しやすいため、1歳までにBCGワクチンを接種しましょう。
- ・ 症状がなくても、年に一度は職場や地域での健診を受けましょう。
- ・ 喫煙は結核感染・発病のリスクを高めますので、禁煙を心がけましょう。
- ・ 天候や室内の快適性に考慮しながら、換気をこまめに行いましょう。

■ 発生状況(結核登録者情報調査年報)

厚生労働省では、結核の発生状況を結核登録者情報システムをもとに取りまとめています。最新の2020年の報告では、全国で新たに結核患者として登録された人数は12,739人、潜在性結核として登録された人数は5,575人となっています。全国の結核罹患率*は10.1で、前年と比べ1.4ポイント減少しましたが、その要因の一つとしてコロナ禍による受診控えの影響が指摘されています。秋田県における罹患率も前年から0.2ポイント減少して6.6となり、隣県の山形県に次いで少なくなっています(表)。

表 都道府県別結核罹患率の順位(2020年)

罹患率の低い 5都道府県	都道府県名	罹患率	罹患率の高い 5都道府県	都道府県名	罹患率
		宮城		5.9	
	山梨	5.9		徳島	13.5
	岩手	6.1		岐阜	13.4
	鳥取	6.1		沖縄	12.7
	山形	6.6		長崎	12.4

(秋田県の罹患率も6.6ですが、同率の場合は小数点2位以下で順位が決定されます。)

感染症の集団発生報告

感染性胃腸炎の集団発生報告が2件ありました。

所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状
			園児	職員	計		
能代市	能代市二ツ井子ども園	3/14	72 名のうち 16 名	28 名のうち 3 名	19 名	3/10 ~ 3/14	嘔吐、下痢
大仙市	なごみ保育園	3/17	12 名のうち 7 名	8 名のうち 0 名	7 名	3/15 ~ 3/17	下痢、嘔吐



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報		警報		対象疾患	注意報		警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	対象疾患		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1		
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2		
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1		
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4		
手足口病	-	5	2						

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		